

平成 23 年度 感染症発生動向調査事業関連のウイルス検査結果

保健科学課 ウイルス担当

当所では平成 4 年から福岡県結核・感染症発生動向調査事業に参加しており、現在、8 医療機関 9 病原体定点を対象に検査を行っている。表 1 に臨床診断名別ウイルス検査結果を示す。

平成 23 年度、病原体定点より採取された検体は、114 名、149 検体で、平成 22 年度（244 名、319 検体）と比較し減少した。採取された検体は、インフルエンザが例年どおり最も多かった。

表 1 平成 23 年度臨床診断名別ウイルス検査結果

臨床診断名	患者数	検体数	陽性数	検体	検出ウイルス(株数)
インフルエンザ	30	31	16	咽頭うがい液 咽頭ぬぐい液 鼻汁 髄液 ふん便 ふん便	インフルエンザ A/H3 型(1)・インフルエンザ B 型(1) インフルエンザ A/H3 型(4)・インフルエンザ B 型(2) インフルエンザ A/H3 型(6)・インフルエンザ B 型(1) アデノ 1 型(1)
感染性胃腸炎	6	6	3	ふん便	ノロウイルス(2)・A 群ロタウイルス(1)・ポリオ 3 型(1) (重複感染 1 件あり)
手足口病	18	22	3	咽頭ぬぐい液 ふん便	コクサッキー A16 型(2) コクサッキー A6 型(1)
ヘルパンギーナ	1	2	2	咽頭ぬぐい液 ふん便	コクサッキー A10 型(1) コクサッキー A10 型(1)
無菌性髄膜炎	3	6	1	咽頭ぬぐい液 髄液	エコー 7 型(1)
その他	56	82	10	ふん便 咽頭ぬぐい液 気管吸引液 喀痰 髄液 尿 ふん便	コクサッキー B1 型(2)・アデノ 1 型(1)・アデノ 4 型(1) エコー 6 型(1)・ポリオ 2 型(1) コクサッキー B1 型(1)・アデノ 4 型(1) パレコ 3 型(1)・A 群ロタウイルス(1)

表 2 に月別、検査法別ウイルス検出状況を示す。

ウイルスの検出は細胞（RD-18S, VeroE6, HEp-2, CaCo-2, MDCK）培養，Polymerase Chain Reaction（PCR）等で行った。

その結果、35 検体（うち 1 検体は複数検出）からウイルスが検出（検出率 23.5%）された。なお、インフルエンザについての詳細は「平成 23 年度福岡市におけるインフルエンザの流行状況」を参照。

表2 平成23年度検体採取月別および検査法別ウイルス検出状況

検出ウイルス	検体採取月別ウイルス検出状況													検 出 数	検査方法別ウイルス検出状況					
															細胞培養法※					PCR
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	R		V	H	C	M		
コクサッキーA6 型			1										1				1			
コクサッキーA10 型						2							2	2			2			
コクサッキーA16 型				1					1				2	2		1	1			
コクサッキーB1 型					3								3		3	3	3			
エコー6 型					1								1	1		1	1			
エコー7 型				1									1	1	1	1	1			
パレコ 3 型			1										1		1					
インフルエンザ [※] AH3 型									2	3	5	1	11					11		
インフルエンザ [※] B 型		1								1	1	1	4				4	4		
アデノ 1 型									1			1	2		1	1	1			
アデノ 4 型												2	2		2	1	2			
ポリオ 2 型	1												1	1	1	1	1			
ポリオ 3 型									1*				1	1	1	1	1			
ノロウイルス						1			1*				2					2		
A 群ロタウイルス		1										1	2					2		
計	1	2	2	2	6	1	0	1	5	4	6	6	36	8	10	10	18	15	4	

※ 細胞名の略称 R: RD-18S, V: VeroE6, H: HEp-2, C: Caco-2, M: MDCK

* 同検体から検出